

富山高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	技術英語	
科目基礎情報							
科目番号	0133			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子情報工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	担当教員の作成した講義資料を毎回配布する						
担当教員	的場 隆一						
到達目標							
・ 簡単な英語を利用することで英語により卒業研究内容を発信することができる。 ・ 卒業研究の概要を英語で記述することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	技術英語の特徴を掴み、それを駆使して英作文ができる。			技術英語の特徴を理解している。		技術英語の特徴を理解していない。	
評価項目2	アブストラクトの構成を理解しており、技術英語の特徴を適用して卒業研究のアブストラクトを書くことができる。			アブストラクトの構成を理解しており卒業研究のアブストラクトを書くことができる。		卒業研究のアブストラクトを書くことができない。	
評価項目3	スライドによる研究発表の構成を理解し、卒業研究について効果的に英語で発表することができる。			卒業研究について英語で発表することができる。		卒業研究について英語で発表することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE C1 ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	担当教員の作成した講義資料を中心に、演習を通して技術英語についての理解度を深める。						
授業の進め方・方法	講義と演習を中心に技術英語に関して教授する。課題（宿題）、小テストと期末試験、プレゼンテーションを総合して評価する。						
注意点	本科目では、60点以上の評価で単位を認定する。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。 追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を60点とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス、アブストラクトの書き方 1（講義・演習）		技術英語における 3C（Clear, Concise, Correct）を意識した英作文ができるようになる。		
		2週	アブストラクトの書き方 2（講義・演習）		科学論文の構成とアブストラクトの構成について理解する。		
		3週	アブストラクトの書き方 3（講義・演習）		科学論文とアブストラクトにおけるライティング規則について理解する。		
		4週	演習 1		卒業研究のアブストラクトを英語で作成する。		
		5週	演習 2		4 週目で作成したアブストラクトを回し読みし、互いに添削をしてもらい、リライトする。		
		6週	研究概要作成（講義）		研究全体を表すボンチ絵の描き方を習得する。また、いくつかのサンプルをみることで良し悪しがわかるようになる。		
		7週	演習 3		卒業研究のボンチ絵を作成する。		
		8週	研究概要紹介 1（演習）		英語によるボンチ絵を用いた卒業研究発表会（前半）を通して各自の研究を簡単に英語で紹介する。		
	4thQ	9週	研究概要紹介 2（演習）		英語によるボンチ絵を用いた卒業研究発表会（後半）を通して各自の研究を簡単に英語で紹介する。		
		10週	英語によるプレゼンテーション 1（講義）		研究発表におけるスライドの構成について理解し、各自の研究内容の構成を行う。		
		11週	英語によるプレゼンテーション 2（講義・演習）		英語による表やグラフの説明方法について理解し、発表できるようになる。		
		12週	演習 4		英語による卒業研究のプレゼンテーション資料作成を行う。		
		13週	英語によるプレゼンテーション 3（演習）		英語による卒業研究発表を行う。		
		14週	英語によるプレゼンテーション 4（演習）		英語による卒業研究発表を行う。		
		15週	期末試験		技術英語の知識について出題される試験において、自らの理解度を確認する。		
		16週	期末試験返却		期末試験返却		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会 科学	英語	英語運用能力 向上のための学習	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。			3	後1,後2,後3,後4,後5
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題・レポート	合計	
総合評価割合	70	20	0	0	0	10	100	
基礎的能力	70	20	0	0	0	10	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	